

しつけ 言われなくても勉強するようになる10の知恵

勉強しろと言うより、手伝いをさせたほうが勉強をするようになる。

褒め言葉は、第三者から伝わるようにする。

やる気がない時は、逆にそのことを禁止するか、取り上げてしまう。

子供の疑問には、分かっているても答えを全部与えない。

新しい事を教えるときは、おもしろくなってきたところで中断する。

素直過ぎる子には、わざと対立関係を作ってみる。

子供が勉強しているからと言って、特別扱いしない。

子供の質問には、答えよりも調べ方をアドバイスする。

子供には『何をせよ』ではなく、『何からするか』を問う。

難問に出会ったら、『無理かな』『できないだろうな』と挑発してみる。

多湖輝（たごあかり）著 しつけの知恵袋より